

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



福津の大切な財産を守る

林野火災防衛訓練



▲300m以上離れた池などから水を両市消防団と消防本部が中継し放水しました

林野火災を想定した訓練を3月3日、新原・奴山古墳群周辺で行いました。この訓練は空気が乾燥し、火事が発生しやすい春に毎年行っているものです。

訓練では火災の一報を受けた福津市消防団と宗像地区消防本部の福津消防署が出動。しかし、延焼の恐れがあることから福岡都市圏市町消防相互応援協定に基づき、宗像市消防団に応援を求めるという想定でした。雨が降る中、地面には枯れ葉や枯れ草が多く滑りやすい悪条件での訓練でしたが、団員は臨機応変に対処していました。

訓練を終えて、福津市消防団の小林弘美団長は「気象条件や足場が悪い中、実戦さながらの訓練ができていた。熱い消防魂を感じた」と話してくれました。これまで4年間、市消防団を統括してきた小林団長はその任期を終え、4月1日からはこれまで副団長だった松尾信嗣さんが団長に就任します。

空中を自由自在に飛ばせる

ドローンサミットin福津



▲さまざまな人がドローンを体験しました

手元のコントローラーで機体を自由に飛ばしたり映像を記録したりできるドローンが注目されています。これを用いた新しい産業の可能性の紹介や操作体験をするドローンサミットin福津が3月2日、神興小学校などで行われました。20人の参加者は、ドローンを飛ばすだけでなく空中回転させたり、自分でプログラムを組み立て自動運転させたりして楽しみました。また最後の集合写真をドローンで空撮したので感心していました。

夢や希望をいつまでも追いかけてよう

徳永玲子さんの講演会



▲トマト農家について描いた自著絵本の紹介

福岡の朝の情報番組やラジオなどで活躍している徳永玲子さんが、3月10日に市立図書館で講演会を行いました。これまでの体験やテレビに出演する上での苦労などを笑いを交えながら講演。食べ物への感謝をつづった絵本の読み聞かせでは、涙を流す参加者もいました。徳永さんは「私は小学2年の頃から女優になりたくて今もその夢を追いかけている。皆さんも夢や希望を持って生きていきましょ」と話していました。

世界文化遺産登録一周年を記念して

「感動バスツアー」開催



▲ガイドの案内を聞きながら新原・奴山古墳群を散策する参加者

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界文化遺産登録一周年を記念した、ふくつ観光協会主催のバスツアーが3月9日に開催されました。ユネスコ世界文化遺産の宗像大社、新原・奴山古墳群の見

学後、宮地嶽神社などを巡りました。各ポイントでは、観光ボランティアガイドが詳しく解説。途中立ち寄ったあんの里では、買い物とレストランでの昼食を楽しみました。新原・奴山古墳群では、散策しながらガイ

ドの声に耳を傾け、ガイドが模型や資料などを使って解説すると「なるほど」と納得する声が上がっていました。10年以上前に三重県から引っ越してきたという桜川区の中西健二さんは「今まで福津のことをあまり知らなかったのが勉強になった」と満足そうに話してくれました。

「地域」「学校」「家庭」が力を合わせて

FUKUTSU「フュー」ニティフェスタを開催



▲開会式で勝浦小の5、6年生が披露した獅子舞

コミュニティ・スクールの取り組みを知ってもらおうと2月25日にFUKUTSU「フュー」ニティフェスタを開催。青少年の健全育成に長年尽力した人の表彰や中学校区ごとの実践発表が行われました。文部科学大臣表彰を受けた、つやぎアンビシャス広場代表の橋内京子さんは「地域、学校、家庭で力を合わせて頑張っていきたい」と話していました。

強豪校を破って県大会優勝

福岡東中学校サッカー部が九州大会へ



▲九州大会を控えて実践練習

福岡東中学校サッカー部が2月に行われた県中学校U-14サッカー大会で優勝。3月27日・28日に開催予定の九州大会の出場権を獲得しました。また県中学校新人サッカー大会でも3位になりました。部員40人をまとめる主将の安武吉稔さんは「九州大会の目標はベスト4入り。悔いなく試合を楽しみたい」と話してくれました。